

## 第 79 回国民スポーツ大会におけるラグビーフットボール、ボウリングの 準備・運営について

第 79 回国民スポーツ大会におけるラグビーフットボール、ボウリングの開催について、県内に開催可能な施設があることから、県内で開催すべき競技として、施設の所在する野洲市や彦根市に開催を依頼してきたところであるが、両競技については、県内に開催可能な競技会場が限られており、両市とも既に複数の競技を開催することが決まっていることなどから、新たな競技を受け入れる余裕がない状況となっている。

については、「第 79 回国民スポーツ大会 県および会場地市町における業務分担・経費負担基本方針」および「同細則」において競技会の準備・運営については市町が担うと規定しているが、ラグビーフットボール、ボウリングについては例外的な取り扱いとする方針とし、市町に説明を行った。

### 1 ラグビーフットボール、ボウリングの取り扱い方針

- (1) ラグビーフットボールについては、関係市町の協力を仰ぎつつ、県が主体的に準備・運営を担うこと
- (2) ボウリングについては、複数市町が関わる開催とし、円滑な準備・運営が図られるよう県も準備・運営に関わること

### 2 臨時市長会議(1/17)、町長連絡会議(1/15)での説明

令和 2 年 1 月 15 日開催の町長連絡会議および令和 2 年 1 月 17 日開催の臨時市長会議において、上記の方針を説明し、概ね了承を得た。

#### <市町からの主な意見>

- ・ラグビーフットボールについては、受け手がない競技で、県内でやらないといけないものは県がしっかりと責任を持つことが必要であり、この方針で良いのではないかと。
- ・ボウリングは、彦根市の提案に対して犬上 3 町が前向きに対応されるのであれば良い。
- ・後ですれ違いにならないように県の役割や県が市町に協力を求める内容を明確にして進めてもらいたい。
- ・開催準備が進む中で生じる様々な課題について、県もしっかりと相談にのってほしい。
- ・これからは前を向いて、当初の予定どおりスムーズに進めていき、わだかまりが生じないように願います。

### 3 今後の対応

両競技における県と市町の役割分担を整理し、市町への説明・依頼を行い、令和 2 年 6 月開催予定の開催準備委員会において会場地を内定する。

## 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催準備について

### 1 会場地選定について

国民スポーツ大会については、7競技の会場地が決まっていないが、そのうち3競技は、県内に開催可能な既存施設がないため県外開催の方針で競技団体、県外施設等と協議を進めているところ。

その他の競技については県内に開催可能な施設があることから、県内で開催すべき競技であり、施設の所在する市に開催を依頼してきたもの。

しかしながら、このうち、ラグビーフットボール、ボウリングについては、県内に開催可能な競技会場が限られているが、各市とも既に複数の競技を開催することが決まっていることなどから、新たな競技を受け入れる余裕がない状況となっている。

については、「第79回国民スポーツ大会 県および会場地市町における業務分担・経費負担基本方針」および「同細則」で競技会の準備・運営については市町が担うと規定しているところであるが、ラグビーフットボール、ボウリングについては例外的に以下のとおりの取り扱いとしたい。

- (1) ラグビーフットボールについては、関係市町の協力を仰ぎつつ、県が主体的に準備・運営を担うこと
- (2) ボウリングについては、複数市町が関わる開催とし、円滑な準備・運営が図られるよう県も準備・運営に関わること

### 2 市町施設整備費補助金について

市町の競技施設の整備については、各市町で計画的に進められているところであるが、両大会の開催を契機に、国スポ・障スポのレガシーとして将来にわたって障害者スポーツに取り組める環境を整えることが重要と考えることから、県市町施設整備費補助金の補助対象にバリアフリー化のための整備を含めることとする。